

類別:医療用品(4)整形用品
高度管理医療機器 一般の名称:脊椎内固定器具 JMDNコード 37272003
販売名:アルファテック コバルトクロム ロッド

再使用禁止

【警告】

本品とセットスクリューを締結するときは、クロススレッドしていないことを確認すること。[クロススレッドしながらねじ込みした場合、ネジ部分が破損するため]

【禁忌・禁止】

[適用対象] (次の患者には使用しないこと)

- 1) 骨髄炎や敗血症等の感染症の患者[患部に病巣が移り、良好な手術結果が得られないため]
- 2) 患部周辺に開放創を有する患者、軟部組織が脆弱等の骨質不良の患者
- 3) 病的肥満の患者[本品に過度の負担がかかり、マイグレーションや折損等が発生しやすいため]
- 4) 妊娠又はその可能性のある患者[安全性が確立していないため]
- 5) 本品の材質に対して過敏症を有する患者

[使用方法]

- 1) 再使用禁止
- 2) 頸椎への使用[承認担保外のため]
- 3) 繰り返しの曲げや鋭角な曲げを行わないこと。[安全性が担保されず、折損等の原因となるため]

[併用医療機器]

本品は、製造販売業者が指定する製品以外と組み合わせて使用しないこと(相互作用の項を参照)

【形状、構造及び原理等】

1.概要

本品は、脊椎固定術等に使用する脊椎固定用システムのコバルトクロム製のロッドである。使用に際しては、脊椎ロッド以外の脊椎固定用システムと併用して使用する。尚、本品は未滅菌品であるため、滅菌を行ってから使用する。

2.外観

- ・ストレートロッド



- ・プレコントゥアードロッド



3.原理

本品は、脊椎固定用器具と組み合わせて使用することにより、脊椎を固定する。

4.原材料

コバルトクロム合金

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、脊椎外科において使用される脊椎固定用器具の一部で、脊椎側彎症の矯正等、脊椎の固定を目的として使用する。

適用部位: 胸椎、腰椎、仙椎

【使用方法等】

- ・本品は未滅菌であるため、使用前には適切な方法で洗浄し、下記条件又は各医療機関で検証された条件により高圧蒸気滅菌を行う。

滅菌条件:

滅菌温度	滅菌時間
132℃	4分以上

- ・併用する脊椎固定用システム

販売名:アルファテック ペディクルスクリューシステム

承認番号:20500BZY00460000

ただし、ハイトップポリアクシャルスクリュー 径4.5mmのみに限定する。

販売名:アルファテック ゴディアク スパイナル フィクセーション システム

承認番号:22100BZX00862000

販売名:アーセナル スパイナル フィクセーション システム

承認番号:22700BZX00029000

- ・再使用禁止
- ・使用に際しては、専用の手術器械を使用する。

1.使用方法(一例)

(1) ペディクル挿入準備

椎弓根の位置確認を行い、挿入位置を決定しオウル、カーブ/ストレートプローブ、ペディクルサウンダーを用い骨孔の作成をする。



- (2) 適切なスクリュー長の決定には、プローブやサウンダーなども利用することが出来る。



(3) タッピング(オプション)

併用するポリアクシャルスクリューは、すべてセルフタップ仕様であるが、皮質骨が硬い等の場合は、タッピングを行い、スクリュー孔を作成する。



(4) スクリュー挿入

ポリアクシャルスクリュードライバーを用いてポリアクシャルスクリューを挿入する。



(5) スクリューヘッドの方向調整

スクリューを挿入後、ポリアクシャルポジショナーでスクリューヘッドの方向を調整する。



(6) ロッドの準備

ロッドの長さ、形状を決定するためにロッドテンプレートを用いる。



手術手技書等を必ずご参照下さい。

- (7) ロッドの長さは、ロッドテンプレートに合わせてロッドカッターで切断し、形状はフレンチロッドバンダーを用いて作成する。



- (8) ロッドの挿入

ロッドをロッドインサーターを用いてスクリューヘッドに置き、ロッドプッシャーを用いて奥まで押し込み装着する。



- (9) ロッドの設置

ロッドを装着したスクリューヘッドにセットスクリューを仮固定する。



- (10) ディストラクション/コンプレッション

必要に応じ、ディストラクションやコンプレッションを行う。



- (11) 最終締結

仮固定状態で全体の調整を行い、T-ハンドトルクレンチを用いて本締めを行う。



【使用上の注意】

1. 使用注意(次の患者には慎重に使用すること)

- (1) 糖尿病等の代謝障害のある患者〔感染が発生し、患部の遅延治療が発生しやすいため〕
- (2) ステロイド療法、免疫抑制剤等の全身薬物療法を受けている患者〔オステオポロシス等が進行し、術後骨折が発生しやすいため〕
- (3) う歯等の局所的な感染を有する患者〔局所感染部から患部に感染巣が移ることがあり、本品を適切に支持できないため〕
- (4) 患部に重度の変形のある患者〔矯正が十分できず、本品を適切に支持できないため〕
- (5) 患部に骨腫瘍がある患者〔本品を適切に支持できないため〕
- (6) 体重過多の患者〔本品に過度の負担がかかり、マイグレーション、折損等が発生しやすいため〕
- (7) 肉体労働、活動性の高い患者〔本品に過度な負担がかかり、マイグレーション、折損等が発生するため〕
- (8) 医師の指導を守らない患者、アルコール、麻薬中毒患者及び精神障害のある患者〔術後管理が不十分になることが多いため〕
- (9) 他関節に障害のある患者〔患部に過度な負荷がかかり、本品を用いて埋植する医療機器を適切に支持できないため〕
- (10) 喫煙習慣のある患者〔偽関節の形成や進行性の変性により疼痛が発生しやすいため〕
- (11) 骨パジェット病の患者〔本品を適切に支持できないため〕
- (12) 再置換術の患者〔骨質の低下や骨量が減少しているため、初回に比べ良好な結果が得られない場合があるため〕
- (13) 下肢に障害等があり、転倒する可能性の高い患者〔転倒により、マイグレーション、折損、ルーズニング等が発生しやすいため〕
- (14) 高齢者(「高齢者への使用」の項を参照すること)

2. 重要な基本的注意

- (1) 骨癒合が確実に達成されるまで、手術部位の固定を行うこと。
- (2) 本品は、患者の生体内や活動性等により、耐用年数に影響があることや骨癒合不全になった場合、本品に繰り返し応力が発生し、不具合が

発生する可能性が高いことを患者に十分説明をすること。

- (3) 本品のマイグレーション、ルーズニング等の不具合・有害事象が発生した場合、再手術が必要になることを患者に説明すること。
- (4) ロッドの曲げを行う場合、専用の手術器械を使用し、無理な曲げや繰り返し曲げを行わないこと。
- (5) 製造販売者によってデザイン、材質等の互換性が保証されている場合のみ他のシステムと併用することが可能である。
- (6) 骨癒合後、本品を速やかに抜去しない場合、不具合・有害事象が発生する可能性がある。
- (7) 本品の抜去は、最終的に医師が決定する。
- (8) 専用の手術器械を使用すること。

3. 相互作用

併用禁忌・禁止(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
他社製のインプラント及び製造販売業者の推奨しないインプラント	脊椎内固定器具として正しく作動しない恐れがあるため、併用しないこと。	デザインコンセプトが異なるため適切に固定されない。

4. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下のような不具合・有害事象が発生した場合、直ちに必要な処置を行うこと。

- (1) 重大な不具合

- ・破損、折損
- ・変形
- ・脱転、分解
- ・マイグレーション、ルーズニング

- (2) 重大な有害事象

- ・偽関節
- ・癒合遅延
- ・金属アレルギー等の異物反応
- ・ストレスシールドによる骨密度低下
- ・疼痛、不快感または、知覚異常
- ・骨構造の破損
- ・神経根、脊髄への過剰刺激による麻酔
- ・硬膜外滲出、髄膜炎、炎症
- ・滑液包炎
- ・骨壊死、骨成長の停止
- ・出血
- ・死亡
- ・再手術
- ・生殖、泌尿器を含む内臓機能または呼吸器不全
- ・神経損傷
- ・血管損傷
- ・メタローシス
- ・脊椎関節脱臼または亜脱臼
- ・腫脹または創部から体液等の連続的な滲出
- ・感染症
- ・塞栓(脂肪、血液等)
- ・血腫
- ・骨穿孔や骨折
- ・マイコバクテリウム属などの細菌や真菌による骨髄炎
- ・脊椎関節の可動域の減少や整復または再建の損失
- ・異所性骨による石灰化
- ・本品と骨が固定することによる抜去術の失敗

5. 高齢者への使用

- (1) 過度のリーミングや力を加えることにより、術中、術後に骨折が発生する可能性が高いので注意すること。また、スクリューやフックを設置する場合も同様に注意すること。
- (2) 腎機能、肝機能等の生理機能が低下している場合が多いため、術前、術中、術後の全身管理に注意すること。
- (3) 何らかの感染巣を有している場合が多く、遅発性感染防止のため感染巣を完治してから、本品を使用すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への使用

妊婦、産婦に対しては、使用しないこと。【禁忌・禁止】の項を参照すること。)授乳婦及び小児に対しては、安全性は確立されていないため、治療上の有益性が、危険性を上回ると医師が判断した場合のみ使用すること。

7. MRIに関する情報 **

非臨床試験によって、本品は一定の条件下において MRI が可能であることが確認されている(MR Conditional)。

本品を留置した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。[自己認証による]

- ・ 静磁場強度:1.5T、3.0T
- ・ 最大磁束密度:1,000 gauss/cm (10 T/m) 以下 (推定)
- ・ 通常操作モードにおいて 15 分のスキャンにおける最大全身平均比吸収率(SAR):2W/kg

・MRIに関連する温度上昇

非臨床の試験においてファーストケース構成体は、1.5 T/64 MHz 及び 3.0 T/128MHzの MR システムにおいて下記の温度上昇があった。

	1.5 テスラ	3 テスラ
MR システムにおける全身平均 SAR	2.9 W/kg	2.9 W/kg
熱量測定法による全身平均 SAR	2.1 W/kg	2.7 W/kg
最大温度上昇	7.4°C	4.4°C
全身平均 SAR 4W/kg 換算時の温度	5.1°C	3.0°C

・アーチファクト情報

本品が 3.0T の MR 装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは、本品の実像から 50mm 以下と推定される。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】***

- ・製造販売業者:グローバスメディカル株式会社
電話番号 03-6402-3311(文献請求先:エデュケーション部)
- ・製造業者: ALPHATEC SPINE INC.
国名:アメリカ合衆国